

あなたもプロジェクトに参加しませんか？

✿ プロジェクトメンバーを募集中

いっしょに動いてくれる、ミュージアムやミュージアム近くの方。
まずは事務局までお問合せください。

✿ 活動支援金を募っています！一口500円です。

振込先：ゆうちょ銀行
記号番号：00980-1-195311
店名・種目・口座番号：〇九九店（店番099）・当座・0195311
名義：こどもひかりプロジェクト応援基金

※ご支援くださった方のお名前はホームページに掲載いたします。
希望されない場合は通信欄にその旨記載ください。



ただいまのプロジェクトメンバー

【現在のプロジェクトメンバー】(五十音順)

天野和彦、池内一誠、池上 雅、石川梨絵、泉田佳代、一井弘行、伊藤達矢、井上 毅、伊従史子、上野知彦、上原智行、遠藤幸栄、岡本裕子、小関高明、鬼本佳代子、数本芳行、蒲池昌江、川延安直、栗原真理、黒川周子、小館誓治、小林めぐみ、佐藤一信、佐藤陽一、柴野志保、清水文美、鈴木典秋、曾山明慶、高瀬優子、竹谷陽二郎、嶽山洋志、田中 馨、田中弘子、玉井幹司、時政典孝、常盤由佳子、中澤堅一郎、名久井正廣、原 明日香、村田真知子、藤井千春、布施静香、古川 健、古谷 裕、細川真理恵、松永真理子、八木 剛、山下治子、吉岡朋子

【プロジェクトメンバーの所属】(2012年5月31日現在)

NPO法人あおもり NPOサポートセンター、NPO法人テイクオフみさわ(青森県立三沢航空科学館)、岩手県立博物館、仙台市科学館、仙台市太白山自然観察の森、仙台市立田子中学校、アクアマリンふくしま、シーアイエー(株)、ビッグパレットふくしま避難所記刊行委員会、ふくしま森の科学館 ムシテックワールド、郡山市ふれあい科学館スペースパーク、郡山市立美術館、田村市立古道小学校、福島県立博物館、福島市子どもの夢を育む施設こむこむ館、(株)アム・プロモーション、(有)アイツアソシエイツ、独立行政法人環境再生保全機構、日本科学未来館、物流博物館、東京藝術大学、キッズプラザ大阪、NPO法人こどもとむしの会、run♪run♪ plaza、姫路科学館、兵庫県立人と自然の博物館、佐用町西はりま天文台公園、兵庫県立淡路景観園芸学校、明石市立天文科学館、明石市立文化博物館、岡山県立美術館、大原美術館、九州国立博物館、福岡アジア美術館、石橋美術館

事務局

〒669-1546 兵庫県三田市弥生が丘6丁目
兵庫県立 人と自然の博物館 キッズひとはく推進室内
TEL: 079-559-2001 FAX: 079-559-2033 E-mail: kodomo.hikari@gmail.com

こども☆ひかりプロジェクト

<http://kodomohikari.jimdo.com>



こども☆ひかり
プロジェクト

全国のミュージアムが被災地の子どもたちを 応援するために集まりました！



こども☆ひかり プロジェクト

こども☆ひかりプロジェクトとは

2011年3月11日、東北での大震災の日を怖い思いをしながら過ごし、今もなお大きな不安の中で、それでも懸命に成長しようとしている子どもたちがいます。そんな今を生きる子どもたちのために全国のミュージアムが集まりました。このプロジェクトは、自然、科学、歴史、美術・・・などそれぞれのミュージアムの知恵と経験を生かし、現地の人たちとコラボレーションしながら、被災地で子どもたちのためにさまざまな活動を展開するというものです。子どもたちの心に小さな明かりが灯り、やがて彼ら自身が、未来に向けての大きな希望の光となってくれればと願い、この活動は2022年まで継続する予定です。



大震災からの復興に向けて、 ミュージアムに何ができるのでしょうか。



ミュージアムは、地域の人々の文化活動、自然、歴史などを未来に継承し、地域の人々が活用することを通して、みんなの生活を豊かにしていくことを目指しています。そのために、次世代を担う子どもたちにこそ、美しいもの、不思議なもの、楽しいことに触れ、感じてほしいと願い、日々、活動に取り組んでいます。そしてその体験が、子どもたちが明日を切り拓くための糧となると私たちは確信しています。ひとつの資料、ひとつのワークショップ、ひとつひとつは小さな活動かもしれませんが、小さな光が集まって、大きな光となるように、子どもたちの心を照らすことができれば、そしてまた、その子どもたち自身が、未来に向けての

希望の光となってくれればと願います。

「こども☆ひかりプロジェクト」は、2012年3月、本格始動しました。私たちは、現在、この趣旨に賛同し、東日本大震災被災地、そして全国で活動を行ってくれるミュージアムとその仲間たち、コンテンツや空間、手段を提供してくれる主体、広げてくれる仲間を募っています。ひとりではできない、単独館では続かない活動も、力を合わせれば、大きく強くなり、継続も可能となります。私たちはこの活動を10年間続ける計画です。みなさんも、私たちといっしょにステージに上がりませんか？

(こども☆ひかりプロジェクト 呼びかけ人一同)

こども☆ひかりプロジェクトの活動

1 展覧会企画

被災地に希望を与え、被災地のようすが地域外の人たちにも見えるような展覧会を企画。パッケージ化して全国に巡回します
●「みんなの福島展」の開催に協力しました。
兵庫県立人と自然の博物館(2012年3月~4月)、
明石市立文化博物館(2012年6月~7月)ほか



2 こども☆ひかり フォーラム開催

ミュージアムと子どもたちについて、とことん話し合うためのフォーラムを全国で開催します。
●2012年6月8日(金)17:00~20:00 せんだいメディアテークにて開催。



ごあいさつ

小さな子どもたちが、あの怖かったらう地震での苦しみや悲しみから立ちあがろうとするとき、ささやかでもだれかが応援していることを伝えたい。いっしょに歩きたい。そして、子どもたちが「夢・希望」を安心して抱ける、勇気をプレゼントしたい。日本中のミュージアムが、大きく子どもたちの可能性を引き出してくれる。地域で生きる子どもたちがミュージアムからのエネルギーで元気づき、まわりの大人たちも共に勇気がわいてくる。そんなプロジェクトでありたいと願っています。

こども☆ひかりプロジェクト代表
清水文美



応援メッセージ!!



環境水族館アクアマリンふくしま
館長 安部義孝

原子力発電所の爆発は、人類への警鐘です。私たちは、海山川の、子どもたちの身近な自然環境がすでに危機的状態になっていることを知っています。さらに放射能汚染が加わっても、私は、驚きません。これを水の惑星の環境改善の引き金にしなければなりません。環境水族館アクアマリンふくしまは、「海を通して人と地球の未来を考える」の理念のもとに、環境メッセージを世界に発信し続けます。



兵庫県立人と自然の博物館
館長 岩槻邦男

誰でも一生の間にはいろんなできごとに出会います。いいこともあれば、ひどいこともあります。人がつくったできごともあります、自然に生じたものもあります。そして、どんなできごとに出会っても、人はみんな協力して生きる術を知っています。そうやって、人間は美しい世界を育ててきました。現在を生きるわたしたちも、みんないっしょに協力して、よりよい地球を育てたいものです。大人も子どももいっしょに楽しみ、学んで。



公益財団法人大原美術館
理事長 大原謙一郎

「誰かの役に立ちたい」という活動の力は、多くの人たちを支え、社会全体を明るく滑らかにしています。阪神淡路の大震災の時、私たちはこれを実感しました。その時支えられた関西の人たちや、それに共感した全国の志高い人たちの思いが結集した一つの場が「こども☆ひかりプロジェクト」です。このプロジェクトが、被災地の子どもたちや大人たち、そして、全国各地で苦難に直面している多くの人たちの力となるよう期待しています。



九州国立博物館
館長 三輪嘉六

みなさんの笑顔こそが、復興への道を開きます。苦しい中、困難な中にみる子どもたちの笑顔、本当にホッとする一瞬であり、何か救われる大事な一刻です。復興に向けさまざまな努力に、いつも子どもたちの明るい目差しが向けられていることは大きな励みになります。皆さんもそんな有様をしっかりと記憶に残すことが次の困難に立ち向かうときの大きな糧になるはず。いま、子どもたちの笑顔こそ、明日のために進み続ける人達の元気の源であり、復興への大きな道標となっていることを信じています。



日本科学未来館
館長 毛利 衛

「地球生命としてのつながり」
46億年まえ、太陽とともに地球は生まれ、40億年まえ、海に生命が生まれました。その生命の多様化の中で、私たち人類が誕生しました。私たち一人一人が地球生命の細胞。様々な地球環境変化の試練を乗り越え与えられた環境で輝き、ともに地球生命を未来へつなげましょう。



仙台市長
奥山恵美子

ミュージアムは、大人も子どもも、みんなのワンダーランド。「なぜ?」「どうして?」「わかった!」「見つけた!」。楽しそうな声はがはげます。未来に向けて伸びていく子どもたちが、元気いっぱい、好奇心いっぱいに育つように。そんな思いとともに、被災地にミュージアムのパワーが広がることを願っています。

3 こども☆ひかり キャラバン・ フェスティバル



さまざまなミュージアムが建物から飛び出して、児童館や幼稚園、保育園、学校などに出かけます。実物資料を子どもたちに見てもらったり、ワークショップを実施します。また、被災地と他の地域の子供たちとのメッセージ交流なども行います。

●こども☆ひかりフェスティバル
2012年6月 仙台市科学館、福島市子どもの夢を育む施設こむこむ館にて開催。

●地域の宝ひめほたるフェスティバル in 折爪岳
2012年7月 折爪岳(二戸市・軽米町・九戸村)にて開催

ほかにも子ども向けミュージアムジャーナルの発行など、夢はいろいろ。みなさんご支援、ご参画をお待ちしています。



活動についてのお問合せは、事務局まで!